

2025 年 9 月期 事業計画

【期間】 2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日

2025年9月期事業計画の前提

2025年9月期事業計画は、機構の果たすべき目的を遂行するために前期策定した中期経営計画も加味して策定しています。今期は中期経営計画第2期となります。

中期経営計画の重点項目

- 野球普及振興の更なる推進
- プロ野球オペレーションの強化
- 上記を達成するために必要となる財源確保のための事業充実

＝＝公益目的事業＝＝

【野球普及振興事業】

野球に興味・関心を持つ人を増やすための「入口の普及・振興策」を拡充します。これまでも小・中学生との接点となる教員に向けて「投げる・捕る・打つ」の基本動作や簡易化したゲームの進め方等を紹介する授業研究会を開催してきましたが、今年度はさらに重点地域を設け、学校でのベースボール型授業の実施率向上を図るための活動に取り組んでまいります。また同様に未就学児の体験機会を増やすための「仕組み作り」にも着手し、野球遊びの楽しさを伝えられるよう努めてまいります。

● 未就学児向け施策

- ◇ 幼稚園・保育園等訪問
 - 幼稚園・保育園などへの「野球あそび体験」のための講師派遣
 - 派遣講師の養成
- ◇ 機構主催事業におけるイベント実施
オールスターゲーム、フレッシュオールスターゲームなどにおいて未就学児向けのあそび場の提供やBTボールを実施

● 小学生向け施策

- ◇ エデュすぽ！～教員のための体育授業研究会～
小中学校教員を対象に以下の体育授業研究会を実施
 - 集合型：全6回実施
 - オンライン型：全4回実施
- ◇ NPB ジュニアトーナメントの開催
会期：2024年12月26日～29日 ※予備日12月30日
参加：12球団ジュニアチームならびに招待4球団ジュニアチーム
会場：明治神宮野球場(予定)、ベルーナドーム
対象：小学校5、6年生
- ◇ NPB ガールズトーナメントの開催
会期：2025年7月下旬～8月上旬予定
参加：全国47都道府県代表チーム

会場：未定

対象：小学生女子選手

● **中学生向け施策**

◇ 中学校部活動地域移行における環境整備への支援

少子化や学校教員の働き方改革に対応するために進められている中学校部活動地域移行によって懸念される中学校年代の野球競技者減少への対応として、生徒たちが野球を続けるための環境整備支援は日本野球協議会においても最重要課題と認定、アマチュア団体とも協力しながら施策の検討及びパイロット事業実施を進めてまいります

- ・ 指導者派遣
- ・ 既存大会の実施ならびに新しい大会創設への支援

● **その他野球普及振興に関する取組み**

◇ 初心者向け審判講習会の実施

◇ 日本野球協議会に関わる会議会を通じたアマチュア野球団体との連携と相互協力

- ・ 野球競技者登録システム「野球ネット」の運用推進
- ・ プロアマ共同調査の実施（普及振興状況活動調査等）
- ・ 障害予防、野球動作と脳・神経系発達との関係に関する研究等

◇ 現役プロ野球選手によるシンポジウム「夢の向こうに」の実施（2024年12月熊本県にて開催）

◇ 学生野球資格回復研修会の実施（2024年12月）

◇ JICAとの連携による海外での野球普及活動

- ・ JICA隊員による赴任地域での「ベースボール型」授業教本の活用

【助成事業】

日本野球機構補助金規定に則り、野球または野球を含むスポーツの振興またはその援助を目的とする下記公益団体に向けた寄付金、助成金の交付

- ◇ 公益財団法人野球殿堂博物館
- ◇ 公益財団法人全国野球振興会（日本プロ野球OBクラブ）
- ◇ 公益財団法人日本野球連盟（JABA）
- ◇ 一般社団法人全日本女子野球連盟
- ◇ NPO法人アオダモ資源育成の会

【国際的な取組み】

◇ WBSC(国際野球ソフトボール連盟)賛助会員としての活動

◇ MLBを含めた海外プロ野球組織との関係強化ならびに折衝

◇ 侍ジャパン国際試合マッチメイク

機構とし初めてチェコ代表チームを日本へ招聘。バンテリンドーム名古屋で侍ジャパンと対戦(2024年11月9日～10日)

◇ 海外ウインターリーグへの選手を派遣

台湾ウインターリーグの主催者であるCPBLと派遣準備、調整を進めることで機構球団へ育成機会を継続提供できるよう努める

- ◇ オーストラリアン・ベースボール・リーグへ若手・中堅審判員を派遣
日本のシーズンオフ期間中にも出場機会を確保すること、また相手国審判員との交流をすることによりNPB審判員だけでなく相互の技術力向上を目指す

【選手への取り組み】

- ◇ 新人選手選択会議(ドラフト会議)、育成ドラフト会議の実施(2024年10月24日)
- ◇ 現役ドラフト会議の実施
- ◇ 新人選手研修会開催(1月)
- ◇ セカンドキャリアサポート
- ◇ 支配下10年以上選手養老補助制度及び弔慰金制度の管理・運営
- ◇ 退団選手一時金制度の管理・運営
- ◇ 監督・コーチ・選手の国民年金基金等への加入促進活動(12球団と協力し、加入促進活動並びに基金への申込取次を実施)と加入手続きのサポート含む管理・運営

【その他の取り組み】

- ◇ プロ野球の試合をより魅力あるものにするための施策検討・実施
 - ・ 試合時間短縮の実現に向けた取り組み他
- ◇ ファーム参加球団(新潟・静岡)に対する評価・検証と課題への対応の検討
- ◇ 日本独立リーグ野球機構(IPBL)と立ち上げた連絡協議会(3分科会)開催を通じての連携と相互協力
 - ・ 選手・指導者・スタッフの派遣、審判員、記録員の交流を協議
 - ・ IPBL公式戦へのNPB球団3軍の参加を検討
- ◇ 野球協約・統一契約書の編集、発行
- ◇ 公認野球規則の編集、発行と配布
- ◇ 審判員技術向上
- ◇ 機構審判員の人材確保のためのNPBアンパイアスクール実施
 - ・ 関東:2024年12月13日~12月15日
 - ・ 関西:2024年12月20日~12月22日

==収益事業等==

【プロ野球公式戦開催とそれに伴う業務】

プロ野球公式戦の円滑な運用を行うべく、遂行に必要な業務のさらなる効率化を目指し、より良いリーグ運営を進めてまいります

- ◇ 試合運営管理
 - ・ 2025年度パシフィック、セントラル野球連盟選手権試合の日程編成
 - ・ 2025年度ウエスタン、イースタン・リーグ年度選手権試合の日程編成
 - ・ 非公式試合日程編成
 - ・ 上記試合の運営管理
 - ・ みやざきフェニックス・リーグの運営管理

- ◇ 選手に関する業務等
 - ・ 登録、異動、F A等の公示
 - ・ 選手登録関連に使用するシステム「NPB ネット」を機構、球団の実務負担の軽減・効率化のために 2025 年シーズンに向けて改修実施
- ◇ NPB AWARDS 2024(2024 年 11 月 26 日)の開催および達成時等の表彰の実施
- ◇ 各リーグアグリーメントの作成・発行
- ◇ 各リーグガイドブック作成・発行
- ◇ 2025 年度連盟選手権試合及び非公式試合（ファーム含む）への審判員の派遣
- ◇ 記録データの管理
 - ・ 2025 年度連盟選手権試合及び非公式試合（ファーム含む）への公式記録員の派遣
 - ・ 公式記録の作成
 - ・ 公式記録ベースボール・インフォメーション・システム(BIS)検索サービスの提供
 - ・ 速報記録等のメディア配信

【試合の主催・開催支援・運営】

- ◇ 日本選手権シリーズ（2024 年 10 月 26 日（土）から開催）：セ・リーグ球団本拠地球場から
- ◇ ファーム日本選手権（2024 年 10 月 5 日（土）開催）：宮崎サンマリノスタジアム
- ◇ オールスターゲーム運營業務受託（12 球団共催事業）
 - ・ 第 1 戦：2025 年 7 月 23 日（水）京セラドーム大阪
 - ・ 第 2 戦：2025 年 7 月 24 日（木）横浜スタジアム
- ◇ フレッシュオールスターゲーム（2025 年 7 月 20 日（日）レグザムボールパーク丸亀：香川県にて開催予定）

【試合以外の収益事業】

- ◇ 新設した営業推進部において、各担当部署の事業スポンサー営業等をサポートし取りまとめていくことで、より効率的・効果的な利益拡大を求めてまいります
 - ・ NPB パートナー事業
 - スポンサー権益の整理による NPB パートナー制度の見直しならびに新しいスポンサースキームの検討
 - ・ 各種事業のパッケージ化によるテレビ放映権販売価格の引き上げの実施ならびに OTT 等への新しい販売スキーム検討と構築
 - ・ 上記をより効果的にするための PR 戦略を構築
- ◇ グッズの制作、販売管理

機構が運営する大会等のグッズ制作・販売ならびに NPB ショップ(EC サイト)運営管理体制を見直し、より効率的で収益性の高い事業への転換してまいります

 - ・ 機構が運営する大会のオリジナルグッズの制作・販売
 - ・ NPB ショップ(EC サイト)運営管理
- ◇ NPB マークの管理
 - ・ 球団およびメーカーへの販売
- ◇ NPB 管理試合の映像二次使用許諾業務

- ◇ 12 球団プロパティ、選手肖像管理業務
- ◇ プロ野球写真管理提供サービスシステム(NPB CIC)の管理・運営

【国際大会に関する事業】

- ◇ 日本代表チーム(野球日本代表侍ジャパン)の編成・派遣支援
- ◇ 第3回 WBSC プレミア 12 大会運営
2024 年 11 月に開催される名古屋での開幕戦および東京でのスーパーラウンドの運営業務を受託

== その他目的を達成するために必要な事業 ==

【広報活動】

- ◇ 広報室と営業推進部が連携し、これまで以上にファンやスポンサー等全てのステークホルダーの社会的認知に影響を与える活動を目指してまいります
 - ・ プレスリリース配信メディアの拡大
 - ・ ユーザー目線に立って、より使いやすいプラットフォームを目指し公式ホームページ改修を検討
 - ・ 公式 YouTube チャンネル、SNS 等での新規ファン獲得及び閲覧数向上を目指したコンテンツ制作および配信
- ◇ NPB 主催試合等の広報対応、取材・会見対応
- ◇ メディアへのプロ野球取材 ID 発行・管理
- ◇ 公式フォト管理
- ◇ オフィシャルベースボールガイド発行ならびに公式プログラム等の監修

【検査および調査】

公式戦の適切な運用に資する研究・調査を継続してまいります。

- ◇ バット強度の研究・調査
- ◇ 統一球の反発係数調査

【暴排活動】

- ◇ プロ野球暴力団等排除対策協議会の中央協議会開催
- ◇ 選手への講習会実施(新人研修会、キャンプ期間中、みやざきフェニックス・リーグ)

【NPB 医事委員会活動】

- ◇ アンチ・ドーピングの啓発活動とドーピング検査の実施
- ◇ 脳振盪ガイドラインの周知

【組織強化】

- ◇ 12 球団への業務支援のための議事録閲覧システム構築・サービス提供開始
- ◇ 事務局内の業務効率化 (各種申請手続きの電子化の推進)
- ◇ 人的資源のパフォーマンスを最大限に高めるための組織ならびに人事労務制度の再構築

- ・ 研修制度の拡充
- ・ 職員の学びの機会提供充実

以上